

令和4年7月19日

芦屋市企画部市民参画・協働推進室
室長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 0 事業報告書

- 1 日 時：7月15日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：10名（会場参加6名、オンライン参加3名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：城村 勉 氏
(リレー・フォー・ライフ関西実行委員会事務局長)
- 5 目 的：「がんに向き合い、社会を動かす本気のチャリティイベント／リレー・フォー・ライフ芦屋」をテーマに、がん患者支援・がん征圧のために2007年から開催しているイベントが社会に与えるインパクトは何か、生きることについて参加者と共に学ぶ。
- 6 内 容：ゲストスピーカーの城村さんからスライド画像を基に活動の説明。
進行役からの質問、参加者から質疑応答。
- 7 アンケート内容（8件の回答を記載）
 - ・とても役立った…4件、少し役立った…4件
(コメント)
 - ・私自身もリレー・フォー・ライフ芦屋でお手伝いさせて頂いていますが、一緒に活動しているクマさんのお話をお聞きして、改めて、地元に着したリレー・フォー・ライフ芦屋にしていきたいと思いました。
 - ・リレー・フォー・ライフとは何かを知ることができた。
 - ・とても意義深いイベントだと改めて感じました。率直なお話が染みてきました。
 - ・リレー・フォー・ライフが立ち上がるキッカケなど初めて知りました。
 - ・設立から現在に至るまでのお話しを興味深く聞かせていただきました。想いが継続的な寄付に繋がるとよいですね。
 - ・芦屋で始まった活動に芦屋住民の参加が乏しい理由はどこにあるのだろうか。
- 8 振り返り
 - ・機器の接続設定が要因で説明資料の YouTube 動画が会場スクリーン及び ZOOM で共有できず、説明が口頭のみとなる場面があった。動画でイベントの雰囲気伝えることができなかつたことは反省点です。
 - ・アメリカで生まれたリレー・フォー・ライフが日本で2007年に初めて芦屋で開催され、15年間継続開催されているにもかかわらず、知っている。参加した

ことがある。という芦屋市住民が少ないことが分り、今後、広報などの取組みに工夫が必要だと感じていたところ、メディア関係者が参加していたことで、繋げることができた。

- 思いが受け継がれ、容易ではない資金集めを毎年、ゼロから積み上げていることが大変素晴らしい活動であり、これからも参加者が増えることを期待したい。

以上

